

第6次高浜市総合計画推進会議④

目標の達成状況、課題、見直し・改善(案)などを点検・確認!

第3回・第4回の総合計画推進会議（7月29日・8月5日開催）では、中期基本計画（平成26～29年度）に掲げる11目標について、目標達成状況はどうだったか、平成26年度の実績内容や成果・課題、課題解決に向けた今後の見直し・改善（案）など、行政内部の点検・検証結果を、担当部署の職員から発表しました。

そして、高浜市をよりよいまちにしていくためにはどうしたらよいか、目標の達成に向けて改善すべき課題や今後の取組みにつながるアイデアなどについて、意見交換を行いました。

（点検・確認にあたっての着眼点は、広報7月15日号に掲載）



目標	取組みから見てきた課題と今後の見直し・改善(案)の概要	推進会議からの主な意見
(1) まちへの想いを育み、 未来を切り開く チカラを高めます 【協働・自治】	①まちづくりの裾野を広げる取組み 活動紹介を強化する。若い世代が参加できるまちづくりワークショップを開催する。 ②市民・団体・企業などの連携強化 活動を知り、連携を深める場（例：まちづくりフォーラム）を設ける。男性のまちづくりへの参加・協力を促す。 ③職員の地域活動参加を後押しする仕組みづくり 地域活動のきっかけづくりなどに取り組む。	・地域活動に取り組んでいる企業も多い。人材もいる。活動の紹介、活用などに取り組んでほしい。 ・市民・地域とともにまちづくりを進めるため、自治体職員にはプロデューサー、コーディネーター、アドバイザーとしての能力が求められる。
(2) 将来を見据えた 計画的・効果的な 財政運営を行います 【財政運営】	①自主財源の確保・歳出削減の取組みの推進 工業用地の創出や企業誘致に取り組む。事業費削減計画を含む長期財政計画を策定する。 ②公共施設の老朽化問題への対応 公共施設マネジメント基本条例の制定、第三者評価委員会の設置、公共施設等総合管理計画の策定に取り組む。 ③市の財政状況に対する市民の理解を深める 当初予算や決算の概要版を作成する。	・公共施設のあり方については、市民も十分に理解しないと課題。周知の工夫が必要である。 ・財政状況の紹介にあたっては、どのラインなら健全といえるのかがわかるように示すと、市民の関心・理解が高まるのではないか。
(3) 人と学びの輪を広げ、 まちのチカラを育みます 【生涯学習】	①学びの輪の広がり 全世代が「まちの魅力を知りたい」「まちのために何かしたい・役立ちたい」といった想いを高められる仕組みを構築する。 ②たかはま夢・未来塾の充実 子ども目線でプログラムのあり方を検討する。 ③生涯学習・スポーツ施設のあり方 高浜小建て替えなどに合わせ、体育センターや図書館などの機能移転を進める。県へ高浜緑地の早期整備を働きかける。	・学びの輪の拡大に向けては、地域にはどんな特技などを持った人材がいるのかを洗い出し、紹介・活用していくことが大切である。 ・子どもへのアプローチを通じて、親を巻き込むことが有効である。



▲目標(3)
 タカハマ! まるごと宝箱
 ～みんなで鬼みちを歩こう～



▲目標(2)
 「公共施設のあり方」説明会



▲目標(1)
 自治基本条例 出前授業

平成
 26年度
 目標達成
 に向けた
 主な
 取組み